

1. Report No. UMTRI-2014-15		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle CAFE クレジットと車中の炭素回収の利点の組み入れに関する概要		5. Report Date May 2014		6. Performing Organization Code 383818	
		7. Author(s) Brandon Schoettle and Michael Sivak		8. Performing Organization Report No. UMTRI-2014-15	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.		10. Work Unit no. (TRAIS)		11. Contract or Grant No.	
		12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation http://www.umich.edu/~umtriswt		13. Type of Report and Period Covered	
15. Supplementary Notes		14. Sponsoring Agency Code			
16. Abstract <p>このレポートは、現在、米国における車両メーカーが利用できる企業別平均燃費 (CAFE) クレジットと、将来、乗用車の CAFE 評価に対する車中の炭素回収や貯蔵("on-board CCS")の予測に関する応用について議論している。レポートの初めの部分では、燃費テストの基礎と車両メーカーが車両燃費基準をしのぐ信頼度や、温室効果ガス削減に対する信頼度を獲得するために利用可能な選択肢を記述している。</p> <p>レポートの次の部分で議論されている炭素回収貯蔵の利点は、CAFE コンプライアンスの目的に対して、管理されている標準の 2 サイクルテスト間でとらえられる可能性が高いようである。CAFE コンプライアンスのために使用される最終的な燃料値を補正するための簡易的な計算が必要とされているが (CO₂ 削減の結果として得られる利点を反映した)、この具体的な補正は、まだ現行の規制に反映されるものではない。</p> <p>排出削減と全体的な信用面でのメリットは、ガソリン車用の CAFE クレジット・プログラムで使用可能な他の信用度よりも潜在的に車中の二酸化炭素貯留で大きくなりそうである。例えば、車中の炭素回収貯蔵の利点 20%獲得は、次の高い信用カテゴリーで利用可能な最大信用度の数倍になるであろう。</p>					
17. Key Words CAFE, 燃費, 炭素捕獲と貯蔵, 二酸化炭素貯留, 車中の二酸化炭素貯留, CAFE 信用度, 企業別平均燃費				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 23	
22. Price					